

III 事業の進捗状況

現行ビジョン策定後から平成 18 年度末時点までの間に河川事業では 15 河川が完成、19 河川が事業実施中。砂防事業では 39 箇所が完成、16 箇所が事業実施中。海岸事業では、15 海岸が完成、4 海岸が事業実施中である。各事業の進捗により水害・土砂災害からの安全確保が着実に進んだ。

表 3-1 河川事業の進捗状況

	整備率 (H18年度末)	実施事業(H9~H18) 【完成:15河川】	実施事業(H9~H18) 【実施中:19河川】
河川事業	約60%	長堂川河川改修事業	国場川河川改修事業
		真嘉比川河川改修事業	饒波川河川改修事業
		真謝川河川改修事業	安里川河川改修事業
		幸地川河川改修事業	久茂地川河川改修事業
		羽地大川河川改修事業	安謝川河川改修事業
		田嘉里川河川改修事業	小湾川河川改修事業
		比地川河川改修事業	白比川河川改修事業
		与那川河川改修事業	比謝川河川改修事業
		奥川河川改修事業	与那原川河川改修事業
		安波川河川改修事業	屋部川河川改修事業
		福地川河川改修事業	西屋部川河川改修事業
		汀間川河川改修事業	満名川河川改修事業
		報得川水質浄化事業	我部祖河川河川改修事業
		渡嘉敷川河川改修事業	石川川河川改修事業
		内川河川改修事業	天願川河川改修事業
			石垣新川河川改修事業
			名蔵川河川改修事業
			真喜屋大川河川改修事業
			小波津川河川改修事業

表 3-2 砂防事業の進捗状況

	整備率 (H18年度末)	実施事業(H9~H18) 【完成:39箇所】	実施事業(H9~H18) 【実施中:16箇所】
砂防事業	約16%	宇良川砂防事業	辺野喜川砂防事業
		又伊名川砂防事業	饒波川砂防事業
		伊地川(ウン川)砂防事業	安知与那川砂防事業
		比地川砂防事業	伊原地区砂防事業
		田嘉里川(右支川)砂防事業	喜舎場地区地すべり対策事業
		塩屋前川砂防事業	小谷地区地すべり対策事業
		石田川砂防事業	當山地区地すべり対策事業
		平良川砂防事業	新川地区地すべり対策事業
		港川砂防事業	安里地区地すべり対策事業
		大小堀川砂防事業	渡久地地区急傾斜地区崩壊対策事業
		幸地川砂防事業	小橋川地区急傾斜地区崩壊対策事業
		轟川砂防事業	喜屋武地区急傾斜地区崩壊対策事業
		クラ川砂防事業	東(3)地区急傾斜地区崩壊対策事業
		名嘉真川砂防事業	渡久地(3)地区急傾斜地区崩壊対策事業
		宇地泊川砂防事業	我那覇地区急傾斜地区崩壊対策事業
		儀間川砂防事業	吉原地区急傾斜地区崩壊対策事業
		ナカマタ川砂防事業	
		富田川砂防事業	
		通路川砂防事業	
		宜名真地区地すべり対策事業	
		与儀地区地すべり対策事業	
		仲順地区地すべり対策事業	
		津花波地区地すべり対策事業	
		桃原地区地すべり対策事業	
		真地区地すべり対策事業	
		兼城地区地すべり対策事業	
		平良地区地すべり対策事業	
		新里地区地すべり対策事業	
		吉富地区地すべり対策事業	
		糸満兼城地区地すべり対策事業	
		吉原地区急傾斜地区崩壊対策事業	
		武富地区急傾斜地区崩壊対策事業	
		楚辺地区急傾斜地区崩壊対策事業	
		与儀(3)地区急傾斜地区崩壊対策事業	
		東地区急傾斜地区崩壊対策事業	
		大保地区急傾斜地区崩壊対策事業	
		大浜地区急傾斜地区崩壊対策事業	
		谷茶地区急傾斜地区崩壊対策事業	
		嘉間良地区急傾斜地区崩壊対策事業	

表 3-3 海岸事業の進捗状況

	整備率 (H18年度末)	実施事業(H9~H18) 【完成:15海岸】	実施事業(H9~H18) 【実施中:4海岸】
海岸事業	約56%	辺土名海岸高潮対策事業	楚洲海岸高潮対策事業(北部振興)
		浜海岸高潮対策事業	東江海岸高潮対策事業
		根路銘海岸高潮対策事業(北部振興)	水釜海岸高潮対策事業
		大宜味海岸高潮対策事業	宮城海岸高潮対策事業
		久志海岸高潮対策事業	
		部瀬名海岸高潮対策事業(特別推進費)	
		名護海岸環境整備事業	
		屋嘉田海岸高潮対策事業	
		仲泊海岸高潮対策事業	
		宇座海岸環境整備事業	
		北前海岸環境整備事業	
		大山海岸高潮対策事業	
		池間海岸高潮対策事業	
		大浜海岸高潮対策事業	
		比川海岸高潮対策事業	

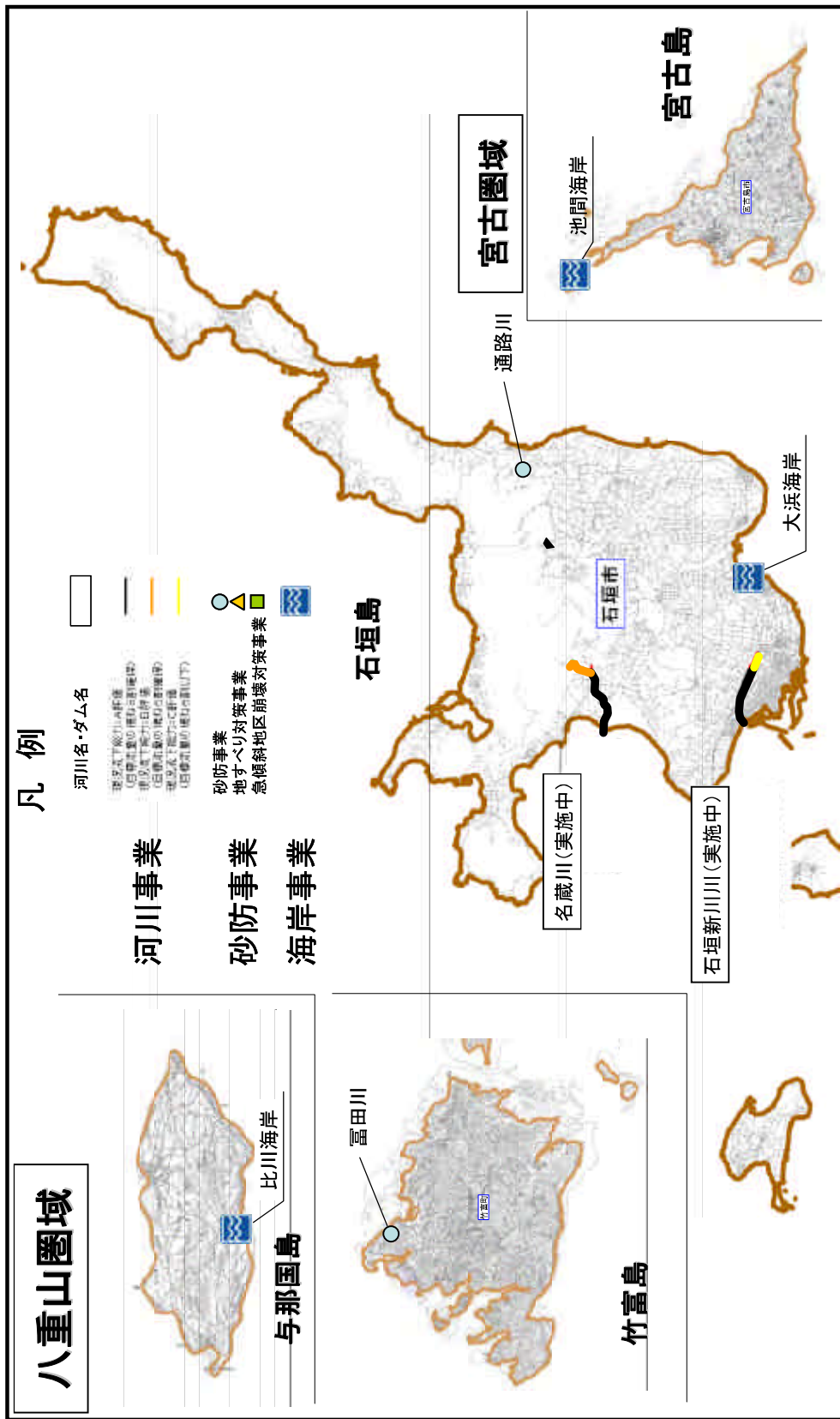











图 3-3 八重山圏域・宮古圏域事業実施位置図(H9~H18)

平成 15 年度に策定された沖縄ブロックの社会資本整備に係る地域の将来の姿に示されたアウトカム指標の達成状況は、表 3-4 の通りとなっている。

表 3-4 沖縄ブロックにおける河川・砂防・海岸事業の進捗状況

アウトカム指標		H18年度末時点
項目	初期値(H14)	H18実績値
復元・創出された砂浜の面積	約 60ha 	約 97ha
ダムによる安定供給可能人口	約 84万人 	約 88万人
洪水氾濫防止のために整備された河川の延長の割合	約 56% 	約 60%
床上浸水を緊急に解消すべき戸数	約 42戸 	約0戸
土砂災害から保全される戸数、うち災害時要援護者関連施設数	約 7,400戸 14施設 	約 7,610戸 25施設
津波、高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積	約 2,600ha 	約 2,430ha
砂防施設により赤土砂等流出を軽減する箇所数	7箇所 	8箇所
人々が海辺に親しむことの出来る海岸延長	約570km 	約576km
離島における生活用水を安定的に確保する	約500人分/日 	約1,400人分/日